

新刊

「どんなときに」「なぜ」「どこで」「だれが」「どんな」

交通安全に携わる
すべての人に
贈る一冊!

—統計データの分析から交通事故の姿がみえてくる!—

統計データが語る 交通事故防止 のヒント

松浦常夫 著 (実践女子大学教授
日本交通心理学会会長)

●A5判 ●320頁 ●定価(本体2,400円+税)
ISBN978-4-8090-1313-3 C3036 ¥2400E



交通事故の実態から
事故の防止策を
導き出す!

本書の特色

- ◆「交通統計」「交通事故統計年報」を中心に、統計データのうち主要な項目を取り上げ、交通事故の実態を科学的に分析
- ◆分析に必要な多様なデータを分かりやすくグラフ化
- ◆各テーマの導入にクイズを設け、交通安全講話等にも活用できる読みやすい誌面構成

内容見本

1-3 事故発生時間帯
なぜ夜間は危険なのか

交通事故はいつ起きるのでしょうか。昼間の方が夜間より車が多く走っていて、歩行者や自転車などが行き来していることから、事故は昼間の方が多く発生すると考えられますが実際はどうでしょうか。また、夜間の方が交通量は少なくとも事故に遭う危険性が高いといわれますが、そうでしょうか。また、それはなぜでしょうか。

Q1 交通事故が最も多く発生する時間帯はいつでしょうか。

- ① 朝の通勤時間帯
- ② 夕方の通勤時間帯
- ③ 夜の10時頃

Q2 夜間の方が昼間より多く発生する死亡事故はどれでしょうか。

- ① 人対車両事故
- ② 車両相互事故
- ③ 車両単独事故

冒頭のQ&Aが交通安全講話の話題に使える!

◆ 事故はいつ発生しているか

図1は1日を2時間ずつに分けて、いつ事故が多く発生しているかを調べたものです。まず全事故(死亡事故を含めた人身事故)についてみると、朝から夕方にかけての日に事故のほとんどが発生していることが分かります。特に朝の8時・9時台と夕方の4時・5時台にピークがみられます。朝のピークは通勤やその後の業務運転、夕方のピークは帰社と帰宅の時間に一致しています。死亡事故は全事故と様子がかなり異なり、時間帯によ

第3章 だれが事故を起こすか

図5 若年運転者の事故時の危険認知速度

注 運転者は原付以上の第1当事者となった運転者

図5 若年運転者の事故時の危険認知速度

図6 若年運転者の夜間事故の割合

注 若者の人身事故件数は92,263件、死亡事故件数は509件。

図6 若年運転者の夜間事故の割合(2012年中)⁶⁾

第3章 だれが事故を起こすか

図5 バス、タクシー、全事故の地形別・昼夜別

図5 バス、タクシー、全事故の地形別・昼夜別¹⁰⁾

発生する場所もバスとタクシーには特徴がみられ、バスは昼の市街地で多く発生している、タクシーは昼夜を問わず市街地で多く発生しています(図5)。

Answer

Q1の答え ① バスの方が人身事故は少ない
Q2の答え ③ 3分の1

文 献

- 1) 日本バス協会 (2013). データでみるバスの10年. <http://www.bus.or.jp/110th/data.html>
- 2) 全国ハイヤー・タクシー連合会 (2013). タクシー事業の現状. <http://www.taxi-japan.or.jp/content/?p=article&c=100&a=8>
- 3) 内田千枝子 (2001). バスとタクシー運転者の運転意識と実態—パイロット調査—. 科学警察研究所報告交通編, 41(2), 52-62.
- 4) 国土交通省 (2011). 自動車輸送統計年報 平成21年度分. <http://www.mlit.go.jp/k-toukei/search/excelhtml/06/06200900a00000.html>
- 5) 交通事故総合分析センター (2010). 交通事故統計年報 平成21年版.
- 6) 交通事故総合分析センター (2012). 事業用自動車の交通事故統計 平成22年版.
- 7) 国土交通省自動車交通局 (2011). 自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会報告書 (平成22年度). 乗合バスの車内事故を防止するための対策について

統計データが
図表化されて
分かりやすい!!

詳しい内容は、こちらまで!
東京法令 検索
<http://www.tokyo-horei.co.jp/>

東京法令出版

交通事故の実態を5W1Hを軸に読み解く!

『月刊交通』好評連載「統計からみえる事故の科学」の単行本化

目次

◆第1章 どんなときに事故は起きるか

- 1-1 事故発生月
死亡事故は秋から年末に多い
- 1-2 事故の多発日
多発日を特定することは可能か
- 1-3 事故発生時間帯
なぜ夜間は危険なのか
- 1-4 天候と事故
雨の日は事故が多いか
- 1-5 通行目的
業務中か私用中かで事故も違う
- 1-6 同乗者
同乗者は運転と事故にどう影響するか

◆第2章 どこで事故は起きるか

- 2-1 都道府県と交通事故
事故の危険性を比べてみる
- 2-2 道路形状
なぜ交差点で事故が多いのか
- 2-3 道路線形
カーブの危険性とは
- 2-4 交通信号
信号機のある交差点事故の特徴とは

◆第3章 だれが事故を起こすか

- 3-1 子供の事故
幼児、小学生、中学生でどう変わっていくか
- 3-2 若者の事故
若さと経験不足は事故にどう影響するか
- 3-3 高齢運転者の事故
加齢が運転にもたらす影響とは
- 3-4 女性運転者の事故
男性よりも事故を起こしやすいか
- 3-5 バスとタクシーの事故
一般ドライバーより事故の危険性が高いか
- 3-6 自転車事故
自転車は交通弱者か

◆第4章 なぜ事故は起きるか

- 4-1 事故原因
事故の背景にはどんな要因があるか
- 4-2 法令違反
事故直前にどんな違反をしているのか
- 4-3 速度
スピード運転はなぜ危険か
- 4-4 飲酒運転
飲酒は少量でも運転に影響する

4-5 運転中の発作・急病

どのような発作・急病が発生するか

◆第5章 どんな事故が起きるか

- 5-1 追突事故
追突はどのようにして起きるか
- 5-2 出会い頭事故
出会い頭事故の原因と発生パターンとは
- 5-3 車両単独事故
単独事故は、いつ、どこで、誰が起きているか
- 5-4 歩行者事故
人と車の両方から原因を探ると
- 5-5 死亡事故と負傷事故
事故は被害程度ごとに違う

◆第6章 事故統計とは何か

- 6-1 交通事故統計の成り立ちと調査項目
- 6-2 交通事故統計表の種類と仕組み
- 6-3 事故統計分析の目的と方法

◆第7章 事故統計をいかに活用するか

- 7-1 事故統計から安全対策を導く
- 7-2 事故データを用いた安全対策の効果測定

『月刊交通』臨時増刊号

関係者必携の一冊!

交通局発足50周年記念

交通警察のあゆみ

道路交通研究会 編集

- A5判
- 248頁
- 定価(本体934円+税)

ISBN978-4-8090-1287-7 C3065 ¥934E

◆警察庁交通局発足から今日までの50年間の主な施策を、交通安全対策、交通秩序の確立、交通規制、高速道路における安全対策等、運転者管理の各分野ごとに集約。

◆交通警察の軌跡がひと目で分かる、道路交通法改正の経緯、交通警察年表を掲載。

◆交通指導取締り用車両・装備資機材の変遷を写真で紹介。



月刊交通

道路交通研究会 編集

- A5判
- 104頁
- 定価(本体797円+税)
- 毎月25日発行

※バックナンバー(2014年3月号以前)は、定価(本体781円+税)です。

交通警察の
ための専門誌
この機会に
是非定期購読を!



2014年の特集テーマ一覧
(6月号以降は予定)

1月号	交通警察の回顧と展望
2月号	交通事故分析
3月号	大規模災害発生時の交通対策について
4月号	高速道路の交通安全対策
5月号	交通警察の様々な活動と心理学・人間工学
6月号	暴走族等対策について
7月号	薄暮時間帯における交通死亡事故抑止対策
8月号	一定の病気等に係る運転者対策
9月号	高齢者に対する交通安全対策
10月号	持続可能な交通安全施設の整備について
11月号	自転車利用者に対する交通安全対策
12月号	交通事故事件捜査と被害者支援

東京法令出版 株式会社

☎062-0902 札幌市豊平区豊平2条5丁目1-27 ☎011(822)8811 FAX(795)6611

☎980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目1-10 ☎022(216)5871 FAX(216)5684

☎462-0053 名古屋市中区西白鳥町11-9 ☎052(914)2251 FAX(914)2253

☎112-0002 東京都文京区小石川5丁目17-3 (代表) ☎03(5803)3304 FAX 03(5803)2560

☎380-8688 長野市南千歳町1005 [営業] ☎026(224)5411 FAX 026(224)5419

☎534-0024 大阪市都島区東野田町1丁目17-12 ☎06(6355)5226 FAX(6355)5227

☎730-0005 広島市中区西白鳥町11-9 ☎082(212)0888 FAX(212)0018

☎810-0011 福岡市中央区高砂2丁目13-22 ☎092(533)1588 FAX(533)1590

[編集] ☎026(224)5412 FAX 026(224)5439

お申込みは
こちらから

●インターネットでお申込み

<http://www.tokyo-horei.co.jp/>

(最新情報等もホームページをご覧ください。)

●お電話でお申込み

0120-338-272

(携帯用電話からもお申込みできます。)

●FAXでお申込み

0120-338-923